

①

造影剤による検査（造影CT）の説明・同意書（患者様用）

患者ID 0003813704 患者氏名 林谷 誠治 様

生年月日 1949/08/05 61歳 性別男性

検査説明日 平成23年01月27日

説明医師 循環内 佐々木正太

造影剤は、診断を正確に行うために使用します。

静脈に注射された造影剤は、腎機能が正常であれば、1日で90%以上尿として排泄されます。

検査の際には十分に注意し行いますが、造影剤の血管外への漏れや副作用が生じた場合の準備や対策には万全を期しております。

1. 造影CTの必要性；
CT検査は造影剤注射なしでも行えますが、造影CT（造影剤を注射したCT検査）では更に詳しく病気の診断ができます。
2. 造影CTの副作用と頻度；
軽症の副作用（5%以下）；
はきけ、嘔吐、じんましん、発疹、かゆみ、咳、くしゃみ、熱感、頭痛など・・・殆ど検査直後で一時的なもの。極くまれに数日以内に生じる事もあります。（遅発性副作用）。
重症の副作用（0.1%未満）；
血圧低下、呼吸困難、ショックなど・・・治療が必要になる場合もあり、極めてまれですが死亡例もあります（40万人に1人程度）。
3. 使用禁忌、要注意；
ヨード過敏症、重篤な甲状腺疾患、気管支喘息、アレルギー体質、重症の心、肝、腎障害、急性膵炎、テタニー、褐色細胞腫、多発性骨髄腫、マクログロブリン血症、ビグアナイド系糖尿病薬使用中の方、妊婦、授乳中の方など

同意書

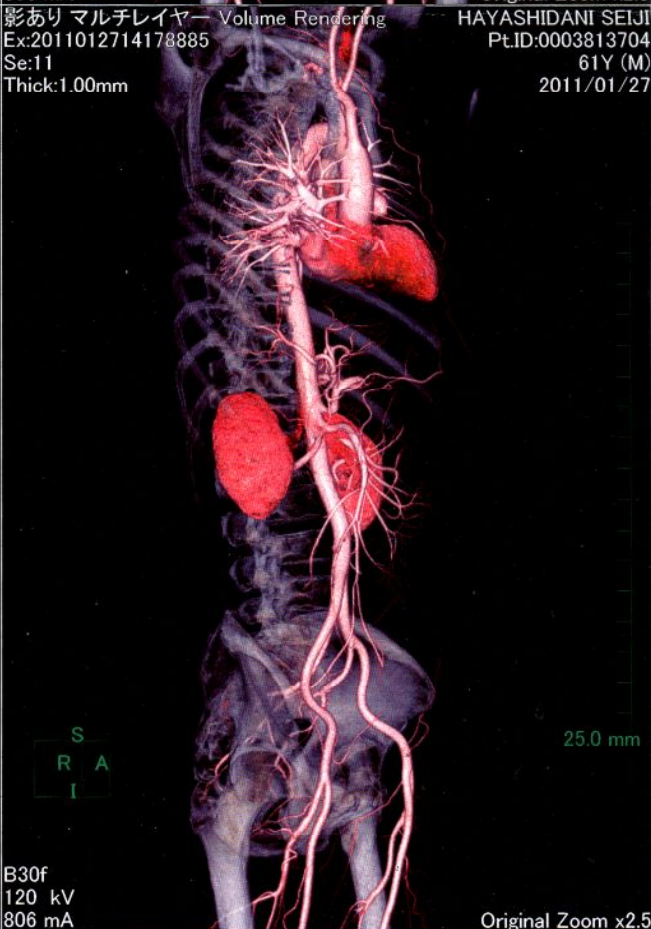
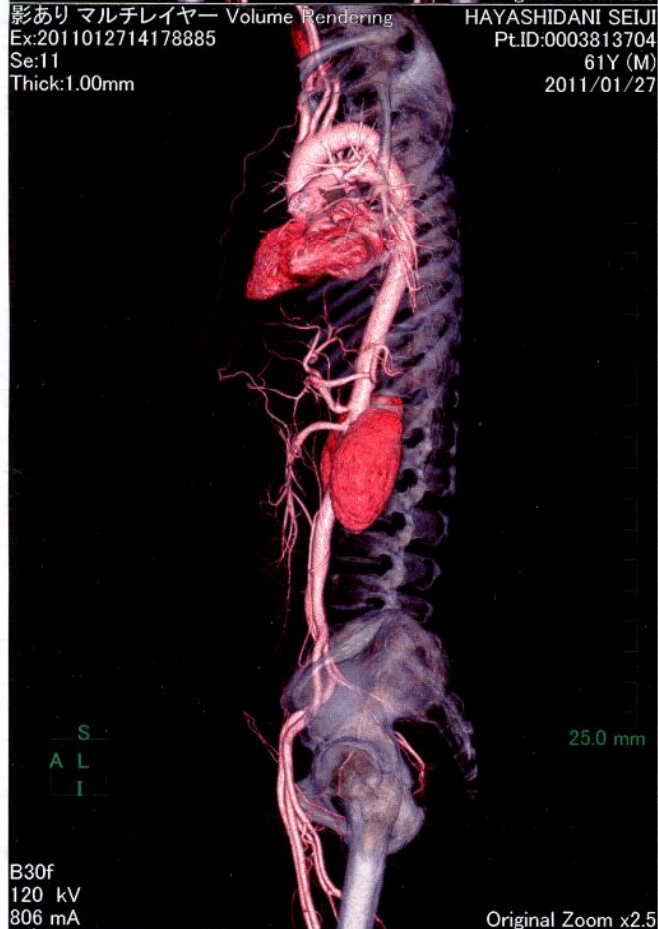
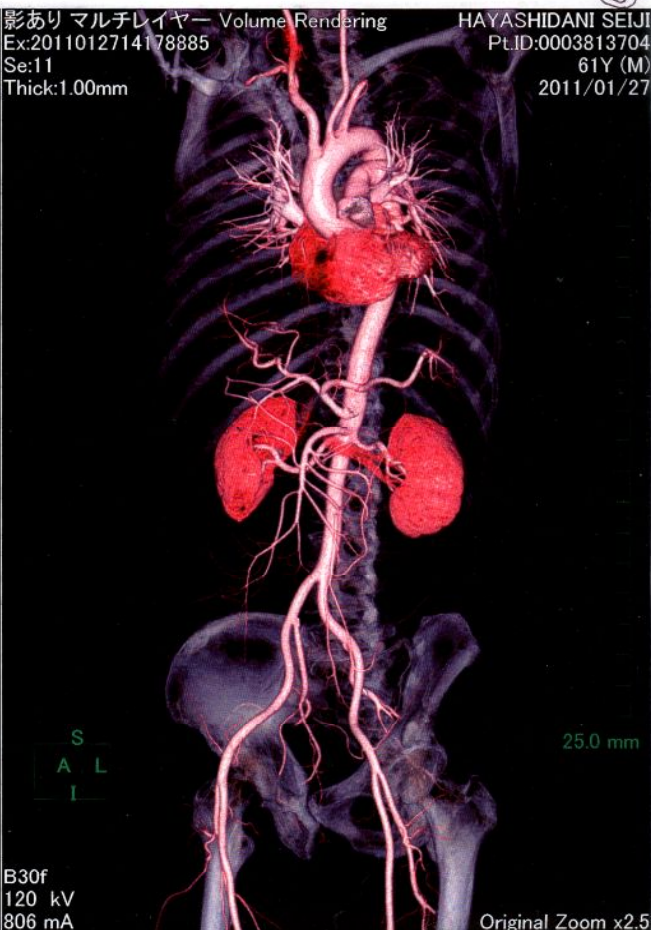
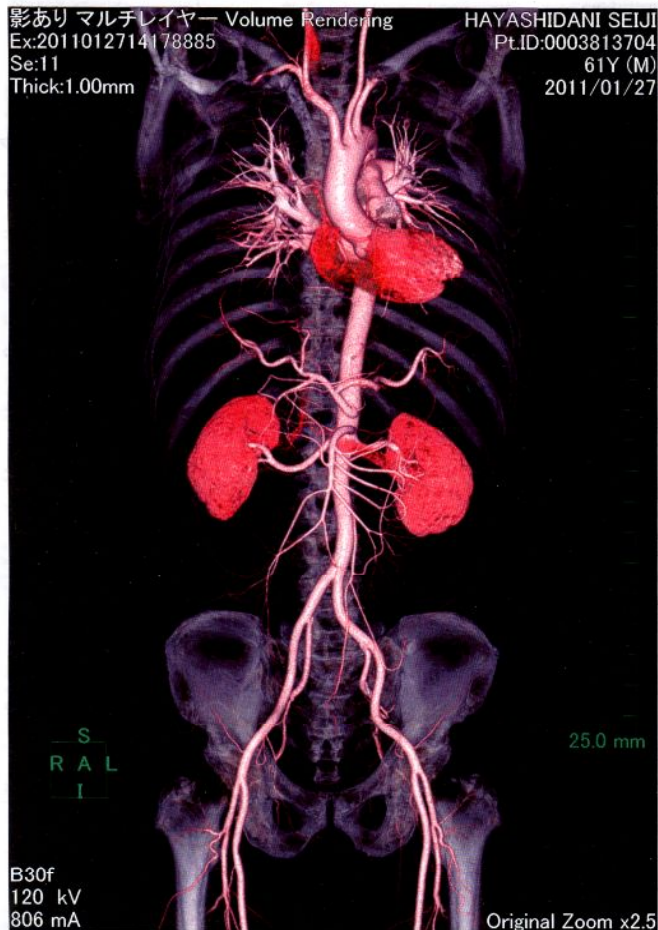
私は造影CT検査の必要性と、副作用について説明を受け理解をしましたので、造影剤の静脈注射に同意致します。

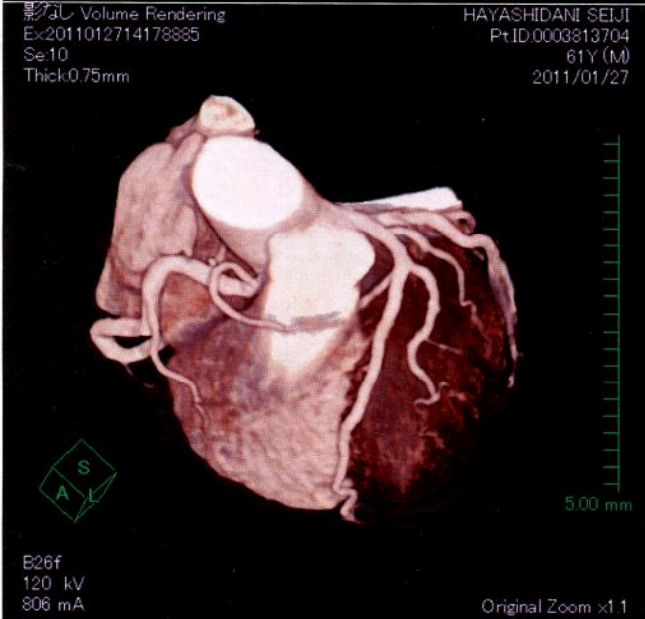
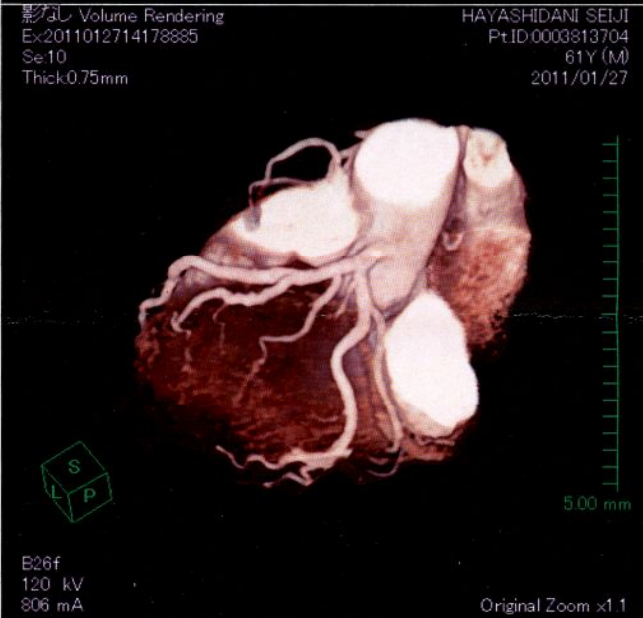
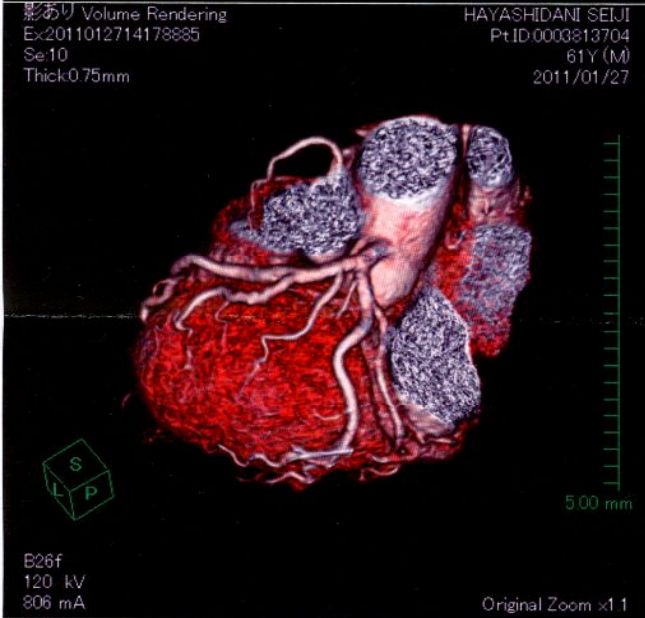
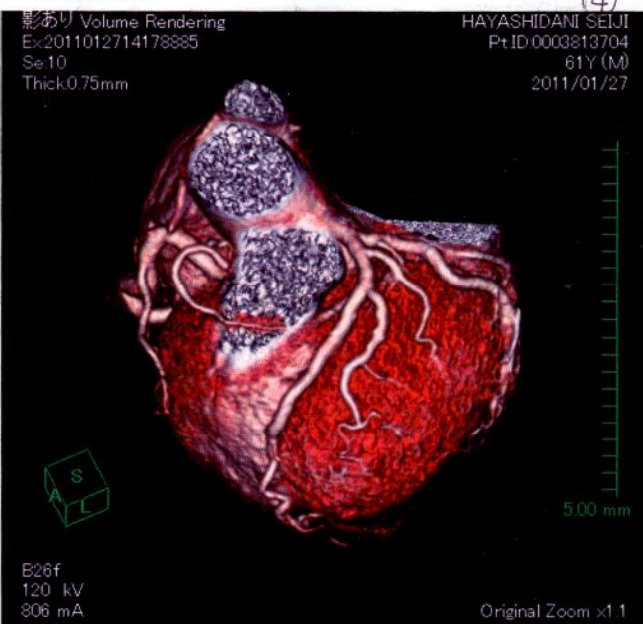
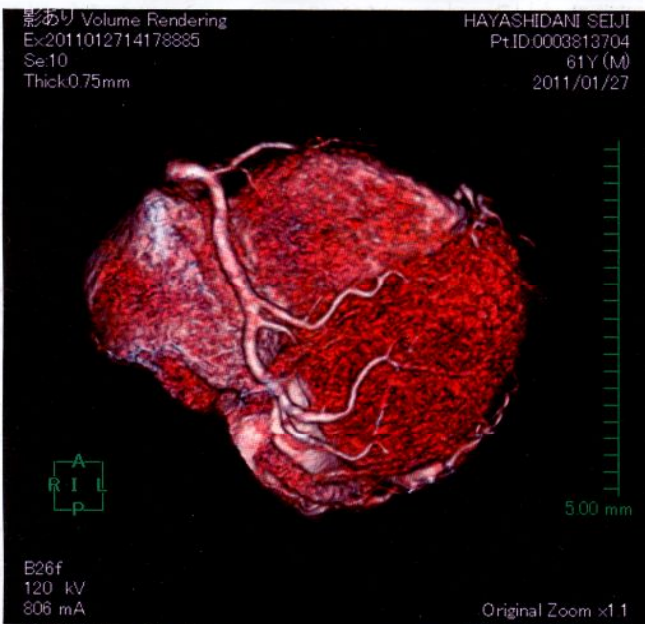
平成 23 年 1 月 27 日

患者氏名 林谷 誠治

家族等氏名（続柄）

広島市立安佐市民病院





影あり Volume Rendering
Ex:2011012714178885
Se:10
Thick:0.75mm

HAYASHIDANI SEIJI
Pt.ID:0003813704
61Y (M)
2011/01/27



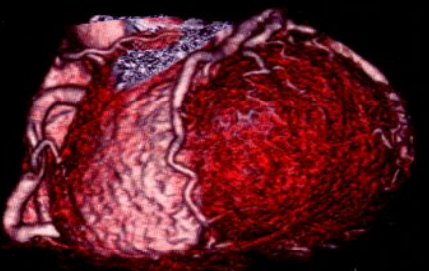
5.00 mm

R A

E26f
120 kV
806 mA
Original Zoom x1.1

影あり Volume Rendering
Ex:2011012714178885
Se:10
Thick:0.75mm

HAYASHIDANI SEIJI
Pt.ID:0003813704
61Y (M)
2011/01/27



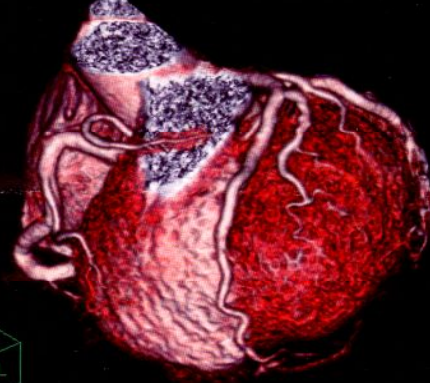
5.00 mm

A L

E26f
120 kV
806 mA
Original Zoom x1.1

影あり Volume Rendering
Ex:2011012714178885
Se:10
Thick:0.75mm

HAYASHIDANI SEIJI
Pt.ID:0003813704
61Y (M)
2011/01/27



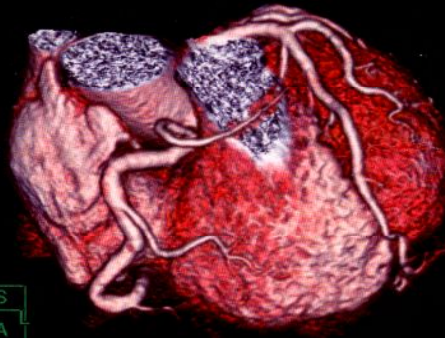
5.00 mm

S A L

E26f
120 kV
806 mA
Original Zoom x1.1

影あり Volume Rendering
Ex:2011012714178885
Se:10
Thick:0.75mm

HAYASHIDANI SEIJI
Pt.ID:0003813704
61Y (M)
2011/01/27



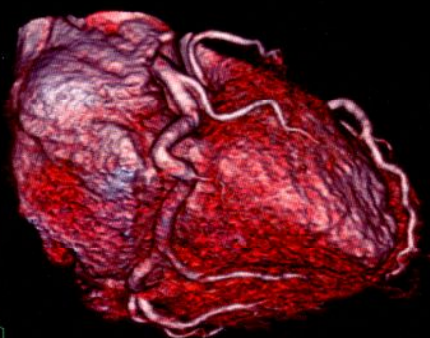
5.00 mm

S R A

E26f
120 kV
806 mA
Original Zoom x1.1

影あり Volume Rendering
Ex:2011012714178885
Se:10
Thick:0.75mm

HAYASHIDANI SEIJI
Pt.ID:0003813704
61Y (M)
2011/01/27



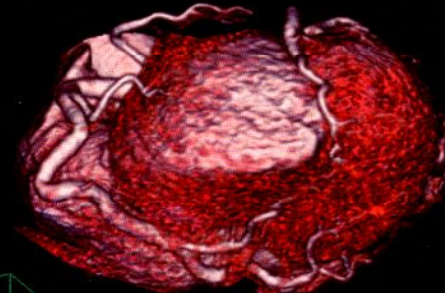
5.00 mm

R A I

E26f
120 kV
806 mA
Original Zoom x1.1

影あり Volume Rendering
Ex:2011012714178885
Se:10
Thick:0.75mm

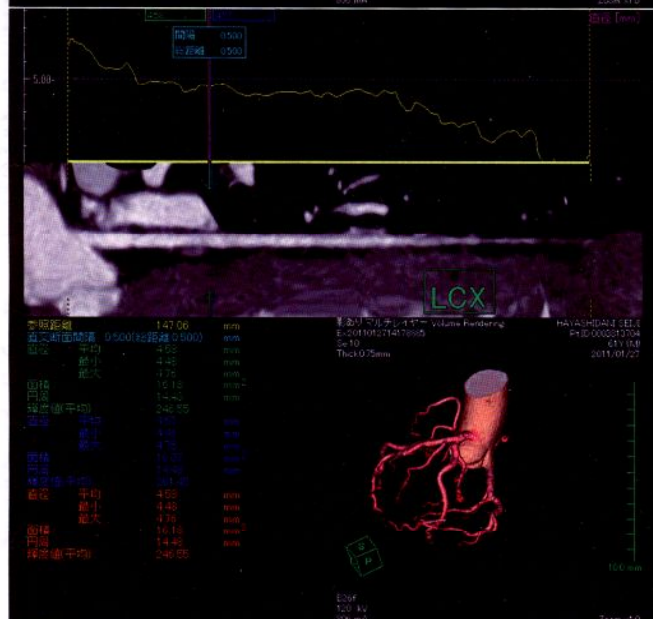
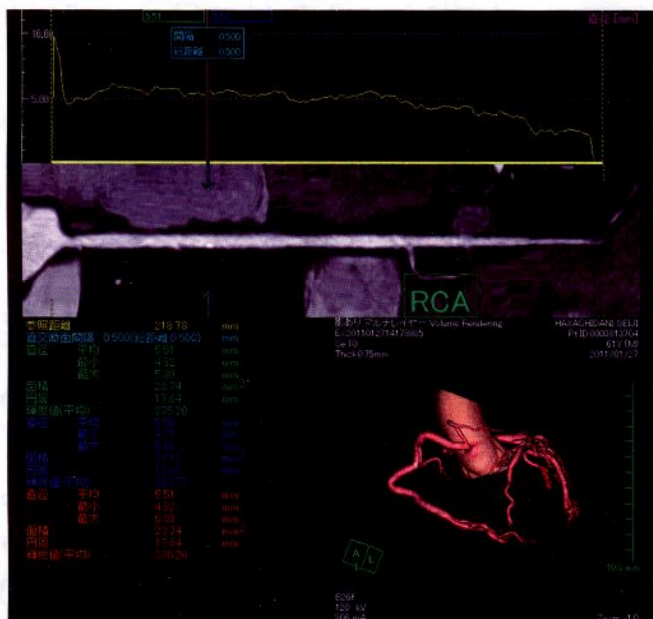
HAYASHIDANI SEIJI
Pt.ID:0003813704
61Y (M)
2011/01/27



5.00 mm

A L I

E26f
120 kV
806 mA
Original Zoom x1.1



診療明細書

外 来 保 険 国 保 7

明細書管理番号 00211560
 計算書管理番号 01913456

001 頁

⑦

循環内

患者番号	000381370-4	氏名	ハヤシダ セイジ 林谷 誠治	様	請求期間	2011/01/27
------	-------------	----	-------------------	---	------	------------

区 分	項 目 名	点 数	回 数	金 額
初診料	* 初診料 (病院) 紹介状あり	270	1	
画像診断料	* 画像診断管理加算 2 (コンピューター断層診断)	180	1	
	* コンピューター断層診断	450	1	
	* CTスキャン (CT撮影・16列以上マルチスライス型機器) CT造影剤加算 (心臓、胸部大動脈及び腹部大動脈) 電子画像管理加算 (コンピューター断層診断料) 1枚 冠動脈CT撮影加算 生理食塩液PL「フソー」 50ml 1瓶 ニトロベン舌下錠0.3mg 1錠 セロケン錠20mg 1錠 イオパミロン注370シリンジ 75.52 %100ml 1筒	3,291	1	

診療費納付書兼領収証書



下記の金額を広島信用金庫本(支)店
又は当院支払窓口にてお支払い下さい。

広島市病院事業管理者
(広島市立 安佐市民病院)



発行日 平成 23 年 1 月 27 日

No. 01913456

〒731-0293
広島市安佐北区可部南二丁目1番1号
TEL 082-815-5211

年度	患者番号	氏名
22	38-1370-4	ハヤシタニ セイジ 林谷 誠治 様

入外区分	診療科	適用保険	病棟病室(入院のみ)	負担割合
外来	循環内	国保7本	*****	30 %
診療日 又は 入院日		請求期間 (入院のみ)		
平成 23 年 1 月 27 日		***** 年 ** 月 ** 日 ~ ***** 年 ** 月 ** 日		

診療点数	
診療料	270 点
医学管理等	点
在宅医療	点
投薬	点
注射	点
処置	点
手術	点
麻酔	点
検査	点
病理診断	点
画像診断	3,921 点
リハビリテーション	点
精神科専門療法	点
放射線治療	点
入院料等	点
歯科矯正	点
歯冠修復及び欠損補綴	点
その他	点
DPC(包括医療)	点
	点
合計点数	4,191 点

負担金額 (保険診療分)	
診療費一部負担金	12,570 円
食事療養負担金	円
保険診療分計(a)	12,570 円

負担金額 (保険適用外)	
分娩料・新生児室料等	円
非紹介初診負担金	円
特別室使用料	円
電気・電話使用料	円
文書料	円
その他健保適用外	円
保険適用外計(b)	円

※印の金額は内税

今回請求額(a)+(b)	12,570 円
※課税標準額	円

納付額	
	12,570 円



●診療費収納取扱時間

当院支払窓口	広島信用金庫各店
24時間	午前9時～午後3時(平日)

(この領収証書は少なくとも2年間は大切に保存して下さい。
領収証の再発行はいたしません。)

領収印のないものは無効です。

日本で4台目となる 2管球搭載型CT装置

ゾマトム デフィニション フラッシュを導入、

2009年12月末より稼働開始しました！



通常、X線を出す管球と人体を通過したX線を測定する検出器は1対ですが、今回導入したCTは2対搭載しています。この事により従来のCTよりも高速、低被曝で撮影でき、患者様への負担を軽減する事が可能となりました。

例えば、胸部は0.6秒、全身でも4秒で撮影する事ができるので、息止めの難しい患者様や小児、救急で有効に対応できます。

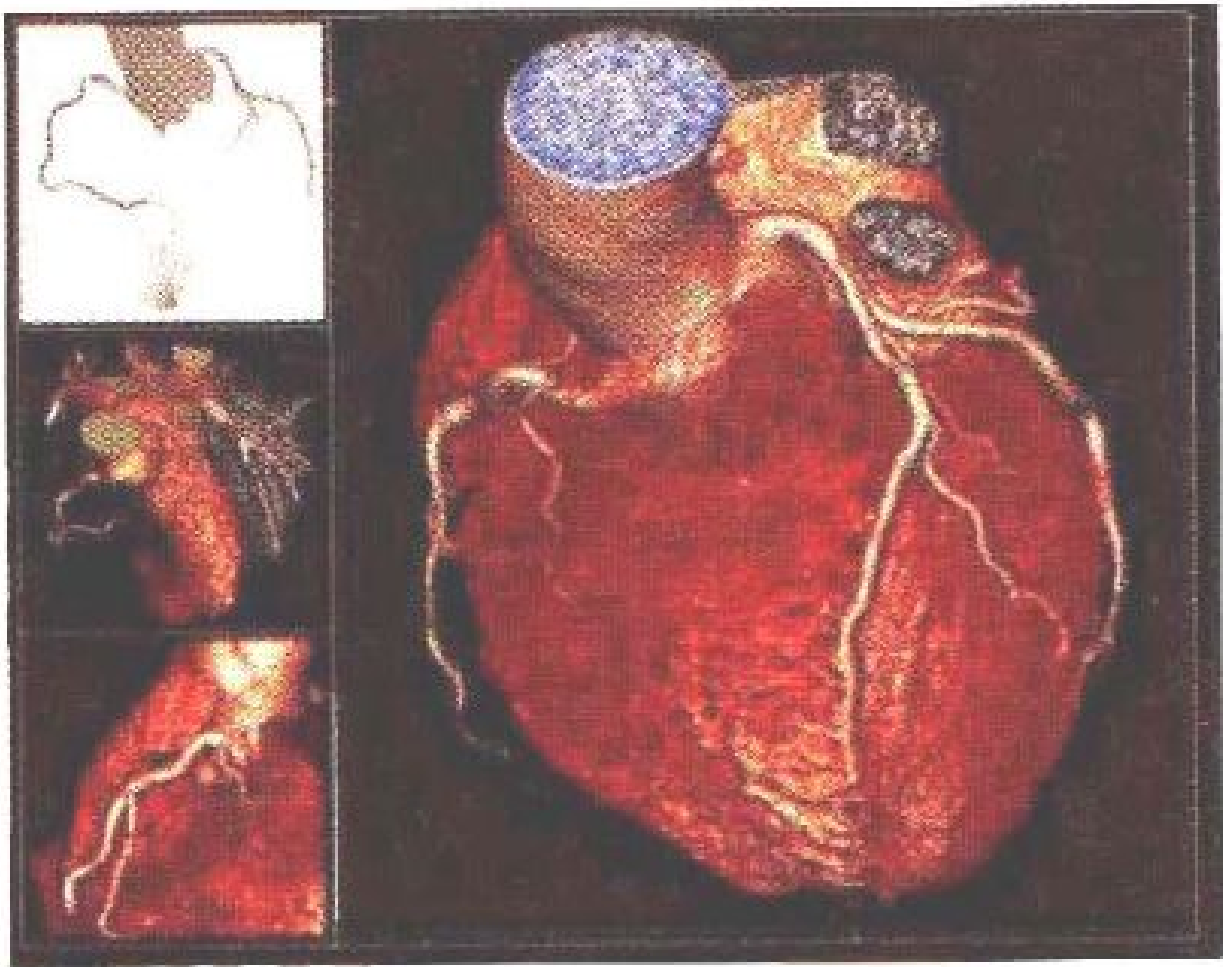
さらに、常に動いている心臓について、不整脈や高心拍の患者様には従来撮影が難しいとされてきましたが、このCT装置では心拍の速い患者様にも迅速で適確な画像を提供できるようになりました。

突然の激しい胸痛を伴う非常に危険な胸部3大疾患（心筋梗塞、肺塞栓症、大動脈解離）を、一度の造影剤使用で撮影する事も可能となり、CTがより患者様にやさしい検査になりました。

(放射線科技師 行友泰子)



放射線科 検査室 2010年1月1日



☆放射線科より新型CT装置導入のお知らせ☆

このたび、放射線科では平成10年より使用してきたシングルヘリカルCT装置の更新として、ドイツSIEMENS社製、SOMATOM Definition Flashを導入、使用することとなりましたので、装置の概略に関してご紹介させていただきます。

このCTは、従来のCTではX線を発生させる管球と、X線を受光する検出器がそれぞれ1個であったのに対し、いずれも2個装備されていることが最大の特徴で、両方の撮像システムをそれぞれ異なる部分をコキャンすることで併用のため、従来の装置と比較して、より短い時間での撮像が可能となっています。

心臓の冠動脈検査においては、もっとも速い撮像モードにおいて、心臓全体を撮像するのに要する時間が0.25秒程度、時間分解能も7frameと短く、従来撮像に工夫が必要であった高心拍の患者様でも、より簡便に質の高い検査を行うことが可能になっています。また、撮像時間の短縮にもともなって被曝量も減少し、従来の検査法の1/10以下となる1mSv以下となっています。

新旧装置での被ばく線量比較

	旧CT装置	新CT装置	心臓カテーテル検査
心臓CT-被ばく線量/造影剤量	10mSv/100ml	1mSv/50ml	5mSv/80ml
胸部～腹部-被ばく線量/造影剤量	15mSv/100ml	6mSv/70ml	—

胸腹部検査においては、80cmの範囲を0.6秒で撮像することが可能で、小児や意識障害、呼吸不全などで呼吸停止が不可能な患者様でも、ふれの少ない画像を得ることができるようになり、診断能の向上につながるものと考えられます。



また、装置導入時点では実装されていませんが、将来的には2個の撮像システムで撮像する管電圧をそれぞれ異なるものにし、X線エネルギーを変えて同じ部位を同時に撮像することで、組織によるX線減衰率の差を利用して、CTアンギオグラフィーでの血管描出能の向上、肺や肝の血流情報からの機能画像の取得への応用も可能になるように装置の改良を考えています。

(放射線科部長 小野 千秋)

☆心臓(冠動脈)CTについて☆

2010年1月より、心臓(冠動脈)CT検査が始まりました。今までは心臓CT検査を行うにあたり、心拍を抑えるため前投薬のベロランを内服し、約90分安静にして検査室に移動していただいていたのですが、今度の装置では前投薬は不要で、来院してそのまま直ぐ検査となるため時間の節約にもなり、普通の造影CTと変わらず変わりなく検査が出来ます。

【特徴】

1. Flash spiral



高速二重螺旋スキャンにより、ピッチファクター3以上と従来の考えられない高ピッチ撮影による全身撮影が可能となり、息止めの困難な患者様や、小児の検査、救急領域の撮影に極めて有用。この技術によって、全周 0.6 秒の息止め不要の撮影が可能。

2. Cardio Flash Spiral



心臓をとおす約1/4心拍の0.28秒、1mSv以下の線量で撮影が可能。Flash Spiral スキャンを心臓検査に応用することで、息止め不要な心臓検査が低被ばくで行える。

3. Organ sensitive dose protection



X-CAREにより、女性の乳房や甲状腺をはじめとする放射線感受性の高い部位の被ばくを選択的に低減させることに成功。特定の撮影範囲でX線の照射を抑制することにより、放射線感受性の高い部位への直接被ばくを最小限に抑えます。

(放射線科主任技師 重廣 義博)



☆新しいCT検査の予約および手順について☆

1月よりCT装置 SOMATOM Definition Flash が稼働しました。

全国でまだ数台しか稼働していない最新鋭のCTです。稼働に伴い、通常のCTだけでなく、心臓CTの紹介も受けることになりました。従来のCTでは、前投薬などで心拍を落とす必要がありましたが、このCTは、心臓の鼓動より高速で撮影可能なため、前投薬の必要はありません。さらに、1心拍での撮影が可能のため不整脈の患者さまにおいてもより鮮明な画像が提供できます。

予約は、従来どおり地域医療連携室へFAXをお願いします。

検査当日は、地域医療連携室で受付を行い、一般CTは放射線科で、心臓CTは循環器内科で予約をして撮影となります。撮影後は、1時間以内にCDまたはキーフィルムを患者さまにお渡しします。所見につきましては、FAXにて相手病院に送させていただきます。

注意事項 としてましては、必ず造影をしますのでアレルギー・既往歴・腎機能などの

情報提供をお願いいたします。

(放射線科技師 坂本 友禎)